

生後2週間の顔面湿疹とカポジ水痘様湿疹症を経て全身症状が軽減した乳幼児アトピーの経過 (2歳男児)

症例 ID：001-02-OH | 記録日：2016年9月13日

1. 診断・治療前経過

生後2週間頃から顔に発疹が出て、生後1か月頃には額から眉周囲に黒っぽい痂皮と強い浸出液、異臭がみられました。生後1か月で受診し、小児湿疹とカポジ水痘様湿疹症に対する治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイドは使用していません。
製品名	該当しません。
強度	該当しません。
使用期間	使用歴はありません。
中止時期	該当しません。
来院前／後	来院前後とも使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後2週間	発症	顔に小さな発疹が出始めました。
生後1か月	治療開始	顔の痂皮、浸出液、異臭が強く、受診して治療を開始しました。
治療初期	範囲拡大	顔の浸出液が全身へ広がりました。
同年6月頃	体幹の変化	背中と腹部の赤みが軽減しました。
同年7月頃	浸出液の減少	浸出液が減り、皮膚は乾燥傾向となりました。
同年8月頃	治療調整	漢方入浴を2日に1回へ減らしました。
約2年半後	経過中	全身症状は大きく軽減しました。

4. ピーク時期

ピークは、生後1か月頃に額から眉周囲が黒っぽい痂皮で覆われ、顔から全身へ浸出液が広がった時期です。

5. 困りごと

- ・乳児の顔と全身に浸出液が広がり、毎日の入浴と外用処置が必要でした。
- ・遠方通院と家庭での治療を家族で続ける必要がありました。
- ・感染症で入院した際、治療方針の調整が必要でした。

6. 経過のまとめ

治療初期の顔面と全身の浸出性症状を経て、背中と腹部の赤み、全身の浸出液が順に軽減しました。

約2年半後には頬、肘、下腿などに軽い症状が残る程度となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。